

実施報告書
第34回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ
ミキハウスカップ東京2024

実行委員長 野村 泰造
レース委員長 小野澤 秀典

はじめに

2024年9月8日(日)、第34回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ(ミキハウスカップ東京2024)を神奈川県立葉山港にて開催致しました。

特別協賛を「三起商行株式会社(ミキハウス)様」に頂いて、スポーツ庁、外務省、公益財団法人日本セーリング連盟の後援を頂きました。

相模湾、神奈川県立葉山港での開催という事で、NPO法人神奈川県セーリング連盟の皆様と葉山港で活動されている葉山町セーリング協会の指導者・保護者の皆様の絶大なご協力を頂いて無事に大会を開催出来ましたことにまず御礼申し上げます。

参加数は、昨年の14クラブ91艇(OP級初級者21艇、OP級上級者49艇、ILCA4 3艇、国際420級12艇)(選手97名)より少し減って、11クラブ80艇(OP級初級者22艇、OP級上級者45艇、国際420級13艇)(選手94名)のエントリーがありました。クラブの指導者・保護者96名に運営役員・委員50名と総勢240名参加の大会となりました。

受付にて本年もクラブ毎に大会パンフレットと参加賞としてミキハウス様提供の記念品を配布致しました。



神奈川県立葉山港



開会式

8時30分より開会式を行ないました。

開会式は石原伸晃連盟会長の開会のご挨拶から始めました。

続きまして株式会社ミキハウス様を代表して須長由季様より選手に対して力強い応援のお言葉を頂きました。開会式に引き続き全体のレース運営について小野澤レース委員会委員長から説明があり、続いてB海面の選手だけ残してスキッパーズミーティングが手短に行われました。



開会式 葉山港管理事務所前で



石原会長のご挨拶、伊藤副会長、光川取締役、須長選手



B 海面スキッパーズミーティング



出艇

ヨット体験試乗会と国際親善

本年も日本在住の外国の子供たちと家族に集まって頂いて、ヨットのセーリング体験を通じてヨットに興味をもって貰おう、ヨットを始めてくれたら嬉しいという体験試乗会を実施しました。

葉山町セーリング協会保護者のご協力で Horizon Japan International School、山田小学校に声をかけて頂いて、昨年と同じように 10 名の外国の子供達・ご両親が来場され、子供達は葉山港と葉山マリーナに係留、活動している大型クルージングヨット 2 艇(Luna, Le Soleil)に分乗して、ミキハウスカップ東京のレース観戦と応援、クルーザーによるセーリングを楽しんで頂くことが出来ました。



体験試乗会を楽しむ子供たち

レース

OP 級上級者クラス、国際 420 級は 4 レースで終了となったものの、OP 初級者クラスは 5 レースを実施出来ました。

<B 海面>

OP 級初級者クラス

雲ひとつない快晴の下、出艇したものの微風だった為一旦帰着。

【第 1 レース】

参加艇 2 2 艇 リコール艇 1 艇

朝方の北東の風が想定より早く南に代わり 190° 風速は 3.8kt の微風 スタート時間 10:40

トップフィニッシュ 10:52 ラストフィニッシュ 10:55

やや微風でしたが初級者クラスながら危なげない操船で果敢にスタートポジション争いの後見事なスタートを切りました。

【第 2 レース】

参加艇 2 2 艇ゼネラルリコール後再スタート、オールフェアでした。

朝方の北東の風が想定より早く南に代わり 190° 風速は 3.3kt の微風

スタート時間 11:10

トップフィニッシュ 11:23 ラストフィニッシュ 11:37

スタートライン付近に風向に逆らう潮流がありラインから各艇押し出されてしまいゼネラルリコールとなりました。

【第3レース】

参加艇 2 艇 2 艇 UFD

朝方の北東の風が想定より早く南に代わり 190° 風速は 6.3kt の風

スタート時間 11:50

トップフィニッシュ 11:55 ラストフィニッシュ 12:03

スタートライン付近に風向に逆らう潮流が止まず 2 艇が UFD であったが、若干風が吹き出してきたので艇もバラつかず団子状態であつという間にフィニッシュしました。

雲一つない炎天下で午前中に 3 レース消化した為昼ご飯の為にハーバーバックしました。

【第4レース】

参加艇 2 艇 リコール艇 複数 失格 1 艇

風向 190° 風速は 8.7kt の風

スタート時間 13:40

トップフィニッシュ 13:51 ラストフィニッシュ 13:57

昼休憩後のレースはリフレッシュ出来た為コースを伸ばしたにも関わらず接戦で、トップ艇から 2 分で 20 艇近くがフィニッシュしました。

【第5レース】

参加艇 2 艇 スタート オールフェア

風向 190° 風速は 5.3kt の風

スタート時間 14:10

トップフィニッシュ 14:22 ラストフィニッシュ 14:28

最終レースは流石に疲れが出たか各艇差がつきトップ艇からラスト艇迄 5 分以上差がつけましたが全艇安定した操船で全通無事フィニッシュしました。午後は落雷も心配される程荒れ模様の可能性もある天気予報でしたが最後まで風向も安定し、好天に恵まれたレースでした。

葉山町セーリング協会の指導者の方々の適切な運営で、滞りなく 5 レースができましたこと深く感謝申し上げます。

また、来年子供たちの成長を見ることが今から楽しみです。



OP 級初級者のスタート



上マーク回航



<A 海面>

国際420級クラス、OP 級上級者クラス

参加艇は国際420級は13艇、OP 級上級クラスは45艇

【第1レース】

9時25分予告信号予定で出艇しましたが風がなく海上にて待機となりました。10時半過ぎから風が吹き始めたので、レース海面に全艇が集合したことを確認し、SI通り国際420級、OP 級上級者クラスの順で10時45分よりスタートしました。

真夏のような晴天の中、弱い風で50分から1時間のレース時間で第1レースを実施しました。

【第2レース】

スタートは、第1レース同様、国際420級、OP 級上級者クラスの順で午後になるにつれて風力が上がってくると想定していた通りシーブリーズが入って参りました。

午前中のレース消化の遅れを取り戻すべく4レース出来るように、短めのコース設定としました。

40分から50分のレース時間で第2レースを終えました。

【第3レース】

国際420級が13時05分にスタートしました。

風力は一時的に 10~12kt になる場面もあり国際 4 2 0 級は 30 分弱で終了、OP 級上級クラスも 35 分で全艇フィニッシュする事が出来ました。

【第 4 レース】

A 海面 14 時 05 分過ぎてからの予告信号を発しないという制限の中、何とか 13 時 50 分に国際 4 2 0 級のスタートが出来ました。風が段々落ちていく中、最終艇フィニッシュ迄 32 分程度、OP 級上級者クラスは 50 分程度のレースが無事終了、フィニッシュ艇は速やかにハーバーバックして行きました。



OP 級上級者のスタート



上マークの攻防



上サイド





国際420級のスタート



スタート直後のデッドヒート



上マーク回航での首位争い



成績

クラブ対抗レース

- 優勝 江の島ヨットクラブジュニア
- 2位 葉山町セーリング協会
- 3位 YMFS ジュニアヨットスクール葉山



クラブ対抗レース優勝クラブ 江の島ヨットクラブジュニア

OP級初級者クラス

- 1位 内田 海音 江の島ヨットクラブジュニア

- | | | |
|----|-------|--------------------|
| 2位 | 田中 雄大 | YMFS ジュニアヨットスクール葉山 |
| 3位 | 金子隆之介 | YMFS ジュニアヨットスクール葉山 |
| 4位 | 山田 晟 | 葉山町セーリング協会 |
| 5位 | 大嶋 璃音 | 横浜ジュニアヨットクラブ |
| 6位 | 行本 碧波 | 葉山町セーリング協会 |



OP 級初級者上位入賞者

OP 級上級者クラス

- | | | |
|----|-------|---------------|
| 1位 | 加原 賢人 | 江の島ヨットクラブジュニア |
| 2位 | 白石 征也 | 江の島ヨットクラブジュニア |
| 3位 | 三浦 太貴 | 夢の島ヨットクラブ |
| 4位 | 中田 琴海 | 江の島ヨットクラブジュニア |
| 5位 | 水谷 光一 | 夢の島ヨットクラブ |
| 6位 | 池田 晟 | 江の島ヨットクラブジュニア |



OP 級上級者上位入賞者

国際420級

- | | | |
|----|-------------|------------|
| 1位 | 内田 歩/佐藤 直輝 | 葉山町セーリング協会 |
| 2位 | 青山 侑友/飯田 泰雅 | 葉山町セーリング協会 |
| 3位 | 嘉手川湮帆/三浦 海珠 | 葉山町セーリング協会 |



国際420級上位入賞者

懇親パーティー・表彰式

懇親パーティー・表彰式は予定より若干遅れの16:30より始めることが出来ました。

プロテスト委員長の三輪眞言様から特別協賛のミキハウス様、また運営のお手伝いを頂いた葉山町セーリング協会の保護者の方々への御礼とレース講評があり、中川二郎連盟副会長よりの成績発表に続いて、クラブ対抗レース、各艇種毎の表彰を行いました。最後に伊藤雅宣レガッタ副会長・連盟副会長の「選手の皆さんが更なるステップアップをし、来年のこの大会でお会いできることを期待しております。」とご挨拶をして、お開きとさせて頂きました。

葉山町セーリング協会の保護者の方々のご尽力によりビュフェ仕様の中華料理を味わいながら和やかな表彰式となりました。皆様の協力により懇親パーティー・表彰式もコンパクトかつスピーディーに進める事が出来ました。



懇親会



懇親会での須長選手



プロテスト委員長の三輪眞言様のレース講評

最後に

残暑の厳しい1日でしたが、ドクターと看護師も待機し、水分補給を十分に摂って貰えるように用意したので、熱中症の発症も怪我もなく無事に終えたと救護部から報告がありました。

毎年特別協賛を頂いている三起商行株式会社（ミキハウス）様、協力を頂いた各団体、企業の皆様とNPO法人神奈川県セーリング連盟、神奈川県立葉山港のスタッフの皆様、葉山町セーリング協会の指導者・保護者の皆様のご協力に改めて感謝と御礼を申し上げます。

以上